平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月13日

上場会社名　株式会社アミューズ　上場取引所　東
コード番号　4301　ＵＲＬ　http://www.amuse.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）畠中　達郎
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　（氏名）宮腰　俊男　ＴＥＬ　03-5457-3358
四半期報告書提出予定日　平成24年11月13日　配当支払開始予定日　平成24年12月５日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　：有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第２四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	14,946	△8.1	1,981	13.2	1,987	17.0	1,178	21.6
24年３月期第２四半期	16,269	31.5	1,750	79.9	1,697	73.8	968	143.3

（注）包括利益　25年３月期第２四半期　1,227百万円（23.4%）　24年３月期第２四半期　994百万円（142.5%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第２四半期	133.01	－
24年３月期第２四半期	104.86	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第２四半期	21,855	14,433	64.4
24年３月期	21,588	13,435	60.7

（参考）自己資本　25年３月期第２四半期　14,064百万円　24年３月期　13,100百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	10.00	－	25.00	35.00
25年３月期	－	15.00			
25年３月期（予想）			－	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
24年３月期の期末配当の内訳　普通配当　10円00銭　記念配当　15円00銭

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,200	△11.3	3,150	△11.6	3,110	△9.5	1,900	△1.6	214.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　有

④　修正再表示　：　無

（注）第１四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料Ｐ．３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期２Ｑ	9,311,760株	24年３月期	9,311,760株
②　期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	453,981株	24年３月期	453,235株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期２Ｑ	8,858,257株	24年３月期２Ｑ	9,237,140株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、平成24年11月20日（火）に機関投資家・アナリスト向け第２四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会にて配布する決算補足説明資料は、開催後、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や各種政策効果により、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、欧州をはじめ海外景気の低迷に加え、不安定な為替動向など、回復の動きに足踏みがみられ、先行きは依然不透明な状態が継続しております。

当第２四半期連結累計期間の主な事業概況につきましては、営業収入は、当社アーティストによるコンサート、出演や演出を手がける舞台公演など付随するグッズ販売も含め、ライブエンターテインメント活動を積極的に展開し好調でありましたが、前年同四半期と比較すると、大型のコンサートツアーがなかったことにより減収となりました。

営業利益につきましては、上記ライブエンターテインメント活動が好調であり、特に舞台公演の稼働率が大幅に上昇したことに加え、音楽ＤＶＤ販売実績が好調に推移したことなどにより増益となりました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は営業収入149億４千６百万円（前年同四半期比8.1％減）、営業利益19億８千１百万円（前年同四半期比13.2％増）、経常利益19億８千７百万円（前年同四半期比17.0％増）、四半期純利益11億７千８百万円（前年同四半期比21.6％増）と好調に推移いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔アーティストマネージメント事業〕

当事業につきましては、ポルノグラフィティ、Ｐｅｒｆｕｍｅ、ｆｌｕｍｐｏｏｌなどのコンサートツアーを展開し好調でありましたが、前年同四半期に比べ大型のコンサートツアーがなく若干の減収となりました。しかしながら、地球ゴージャス、ＴＥＡＭ ＮＡＣＳなど所属アーティストが出演や演出を手がける舞台公演やグッズ販売など、ライブエンターテインメント活動を積極的に展開し、特に舞台公演の稼働率が高く好調であり、主要な増益要因となりました。さらに、福山雅治ライブＤＶＤの販売や多様なアーティストによるＣＭ収入も好調に推移いたしました。

この結果、営業収入115億２千５百万円（前年同四半期比7.2％減）、セグメント利益20億９千万円（前年同四半期比13.1％増）となりました。

〔メディアビジュアル事業〕

当事業につきましては、ＤＶＤ販売におきまして、洋画「三銃士/王妃の首飾りとダ・ヴィンチの飛行船」、吉高由里子出演邦画「カイジ２～人生奪回ゲーム～」、大泉洋主演邦画「しあわせのパン」、佐藤健主演舞台「ロミオ＆ジュリエット」などの作品が堅調でありましたが、前年同四半期に比べヒット作品が少なかったことにより若干の減収減益となりました。

この結果、営業収入25億１千８百万円（前年同四半期比7.4％減）、セグメント利益７千４百万円（前年同四半期比5.2％減）となりました。

〔コンテンツ事業〕

当事業につきましては、サザンオールスターズ、福山雅治、ＢＥＧＩＮ、ポルノグラフィティ、Ｐｅｒｆｕｍｅなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用による印税収入でありましたが、著作権印税や貸与報酬の減少により減収減益となりました。

この結果、営業収入９億１百万円（前年同四半期比20.3％減）、セグメント利益２億２千９百万円（前年同四半期比12.6％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は218億５千５百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億６千６百万円増加いたしました。主な要因としましては、営業活動に伴う流動資産「受取手形及び営業未収入金」の減少、減価償却費の計上による固定資産「有形固定資産」及び「無形固定資産」の減少要因などはありましたが、営業活動に伴う流動資産「現金及び預金」の増加、流動資産「商品及び製品」及び「仕掛品」の増加、海外子会社設立に伴う固定資産「投資有価証券」の増加要因などが上回り、全体としては増加しております。

当第２四半期連結会計期間末の負債は74億２千１百万円となり、前連結会計年度末に比べ７億３千１百万円減少いたしました。主な要因としましては、流動負債「未払法人税等」の支払による減少、流動負債「その他」に含まれます未払金の支払による減少要因などであります。

当第２四半期連結会計期間末の純資産は144億３千３百万円となり、前連結会計年度末に比べ９億９千８百万円増加いたしました。主な要因としましては、四半期純利益の計上に伴う「利益剰余金」の増加要因などであります。この結果、自己資本比率は64.4％となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は77億６千６百万円となり、前連結会計年度末と比較して２億６千万円の減少となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

営業活動の結果獲得した資金は10億７千万円（前年同四半期は26億５千３百万円の獲得）となりました。

これは、主に法人税等の支払額及びたな卸資産の増加に伴う資金減少要因等はありましたが、税金等調整前四半期純利益及び営業債権の減少に伴う資金増加要因等が上回ったことによるものであります。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動の結果使用した資金は11億２百万円（前年同四半期は２億５千６百万円の使用）となりました。

これは、主に定期預金の預入による支出及び貸付けによる支出に伴う資金減少要因等によるものであります。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動の結果使用した資金は２億３千２百万円（前年同四半期は１億１千７百万円の使用）となりました。

これは、主に配当金の支払額及び少数株主への配当金の支払額に伴う資金減少要因等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期の業績は概ね予定通り推移しており、平成24年７月30日に公表いたしました通期連結業績予想の変更は行っておりません。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,544,866	9,285,130
受取手形及び営業未収入金	3,754,847	3,380,808
商品及び製品	1,054,509	1,203,205
仕掛品	1,004,945	1,160,239
貯蔵品	51,008	45,069
その他	1,630,348	1,312,055
貸倒引当金	△317,520	△318,896
流動資産合計	15,723,004	16,067,612
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,054,136	1,016,980
土地	1,760,487	1,760,487
その他（純額）	96,209	89,585
有形固定資産合計	2,910,834	2,867,053
無形固定資産	237,568	207,425
投資その他の資産		
投資有価証券	840,928	891,860
その他	1,885,460	1,831,394
貸倒引当金	△9,319	△10,224
投資その他の資産合計	2,717,069	2,713,029
固定資産合計	5,865,471	5,787,508
資産合計	21,588,476	21,855,121

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
営業未払金	4,859,188	4,934,800
未払法人税等	1,196,386	767,604
役員賞与引当金	35,200	－
返品調整引当金	26,460	12,000
その他	1,012,207	647,040
流動負債合計	7,129,442	6,361,445
固定負債		
退職給付引当金	831,750	870,161
役員退職慰労引当金	16,472	16,472
その他	175,429	173,263
固定負債合計	1,023,651	1,059,897
負債合計	8,153,093	7,421,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	1,694,890	1,694,890
利益剰余金	10,472,808	11,429,560
自己株式	△476,255	△477,103
株主資本合計	13,279,267	14,235,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,918	6,729
為替換算調整勘定	△182,198	△177,028
その他の包括利益累計額合計	△178,280	△170,299
少数株主持分	334,394	368,905
純資産合計	13,435,382	14,433,778
負債純資産合計	21,588,476	21,855,121

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業収入	16,269,344	14,946,382
営業原価	12,790,824	11,339,669
営業総利益	3,478,519	3,606,713
返品調整引当金戻入額	11,760	14,460
差引営業総利益	3,490,279	3,621,173
販売費及び一般管理費	1,740,094	1,639,460
営業利益	1,750,185	1,981,712
営業外収益		
受取利息	2,846	4,894
受取配当金	2,318	1,763
受取手数料	4,406	6,128
持分法による投資利益	4,561	14,427
その他	2,107	3,281
営業外収益合計	16,240	30,494
営業外費用		
事業組合投資損失	28,941	3,378
為替差損	34,318	20,605
その他	5,229	943
営業外費用合計	68,489	24,927
経常利益	1,697,936	1,987,280
税金等調整前四半期純利益	1,697,936	1,987,280
法人税、住民税及び事業税	769,658	752,626
法人税等調整額	△68,342	15,285
法人税等合計	701,315	767,912
少数株主損益調整前四半期純利益	996,620	1,219,367
少数株主利益	28,000	41,152
四半期純利益	968,620	1,178,215

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	996,620	1,219,367
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	614	2,810
為替換算調整勘定	△2,463	5,170
その他の包括利益合計	△1,848	7,980
四半期包括利益	994,772	1,227,348
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	966,771	1,186,195
少数株主に係る四半期包括利益	28,000	41,152

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,697,936	1,987,280
減価償却費	106,166	103,645
貸倒引当金の増減額（△は減少）	34,117	2,282
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△20,660	△35,200
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△11,760	△14,460
退職給付引当金の増減額（△は減少）	27,729	38,411
受取利息及び受取配当金	△5,164	△6,657
持分法による投資損益（△は益）	△4,561	△14,427
事業組合投資損益（△は益）	28,941	3,378
営業債権の増減額（△は増加）	△687,787	374,038
たな卸資産の増減額（△は増加）	402,601	△298,052
営業債務の増減額（△は減少）	1,682,193	75,612
未払消費税等の増減額（△は減少）	15,333	△170,748
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△182,079	316,387
その他の流動負債の増減額（△は減少）	176,198	△203,289
その他	△28,503	65,907
小計	3,230,703	2,224,108
利息及び配当金の受取額	3,457	4,442
法人税等の支払額	△580,969	△1,176,358
法人税等の還付額	－	18,639
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,653,191	1,070,831
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△17,833	△13,616
有形固定資産の売却による収入	8,279	－
無形固定資産の取得による支出	△33,721	△11,070
投資有価証券の取得による支出	△216,200	△550
投資有価証券の売却による収入	9,487	－
子会社株式の取得による支出	△14,551	△31,590
貸付けによる支出	△2,500	△45,353
貸付金の回収による収入	2,627	1,854
その他	7,695	△1,730
投資活動によるキャッシュ・フロー	△256,716	△1,102,056
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△395	△847
自己株式の売却による収入	105	－
配当金の支払額	△89,474	△219,078
少数株主への配当金の支払額	△15,786	△6,642
その他	△12,384	△5,453
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117,934	△232,021
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,389	3,119
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,277,151	△260,127
現金及び現金同等物の期首残高	5,783,607	8,026,411
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,060,758	7,766,283

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	アーティストマネージメント事業	メディアビジュアル事業	コンテンツ事業	計		
営業収入						
外部顧客への営業収入	12,418,711	2,719,510	1,131,122	16,269,344	－	16,269,344
セグメント間の内部営業収入又は振替高	29,583	164,261	75,913	269,757	△269,757	－
計	12,448,295	2,883,771	1,207,035	16,539,102	△269,757	16,269,344
セグメント利益	1,849,074	78,629	262,956	2,190,660	△440,474	1,750,185

（注）１．セグメント利益の調整額△440,474千円には、セグメント間取引消去4,653千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△445,127千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	アーティストマネージメント事業	メディアビジュアル事業	コンテンツ事業	計		
営業収入						
外部顧客への営業収入	11,525,642	2,518,970	901,769	14,946,382	－	14,946,382
セグメント間の内部営業収入又は振替高	24,036	242,503	42,589	309,129	△309,129	－
計	11,549,679	2,761,474	944,358	15,255,512	△309,129	14,946,382
セグメント利益	2,090,765	74,534	229,851	2,395,151	△413,438	1,981,712

（注）１．セグメント利益の調整額△413,438千円には、セグメント間取引消去△222千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△413,216千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。